

の医学史のみならず、社会史、産業史、風俗史、美術史、写真史等にとっても極めて貴重な資料と考えられる。

(1)三菱水島病院医師 2)ライデン大学医史学準教授 3)ロッテルダム大学眼科前教授)

## 宮城県蔵王町平沢の「だるま堂」について

玉手英典

表題の「だるま堂」は古くより宮城県南地方の安産信仰の祠として有名であったが、明治初年五十嵐汝水なる産科医によって再建されたものである。場所は蔵王山の山間部にあり、長暦二年（一〇三八）に建立された安養寺境内の杉の古木が現存しているがその根元に所在する。堂には丸い自然石と汝水が彫った石の達摩像が安置されている。そしてその裏山の小高い所にも中央に死をうがった石碑と「愚鈍庵」と書いた墓石があり、これらが安産を祈る妊産婦や一般女性の信仰の対象となっている。

汝水およびその著書である「おぼろげにみるまのなまりおつひ安産仙翁邦言教諭」については先年二回にわたって本会にて報告したところであるが、今回はこの堂祠についての調査を報告し、併せて前記著書の復刻印刷が完成したのでこれを展示したい。

(仙台医学史研究会会長)